

■研修 (社 会) 科 ヒット授業開発!
学び合いを生かす授業案を検討しよう

“学び合い”を生かすヒット授業案づくり

(社 会) 科のヒット授業案

教科名 社会科 (地理的分野)

単元・題材名 1章 日本の姿
2節 時差でとらえる日本の位置

授業のねらい・目標

- ・地図を活用して、時差が生じる理由について考えさせ、日本と世界の都市との時差の求め方を身につけさせるとともに、地球表面上における日本の位置を時差を使って表現させる。

(大まかな流れ)

(導入) 1年生で学習した緯度 (緯線) と経度 (経線) について復習する。
時差に関係しているのは経度の差であることを確認する。

【4人グループ】(基本の課題)

- 「経度15度で、1時間の時差が生じる」のはなぜか考える。
 - ※ 地球は24時間で360度回転するため、1時間で、 $360(度) \div 24(時間) = 15$ 度回転していることになる。
 - ※ 日本の標準時子午線は、兵庫県明石市を通る東経135度であることを確認する。
- 《演習》① 日本とペキンの時差を求める。
② 日本とロンドンの時差を求める。
③ 日本とリオデジャネイロの時差を求める。

【4人グループ】(ジャンプの課題)

《演習》

- 「武田くんは、友達が出場するリオデジャネイロオリンピックを現地で応援するために、飛行機に乗って8月1日午前10時に成田空港を出発しました。リオデジャネイロに到着した時の日時はどうなるでしょうか。飛行時間を24時間として考えてください。」

この授業の見どころ (学び合いをどう生かすかなど)

- ジャンプの課題は、24時間の飛行時間がからまって、一見すごく難解な問題に思えるが、最初に時差を求めて、出発したときのリオデジャネイロの時刻を出し、そこから24時間後と考えると、難しい問題ではない。そのことに気づけるかがポイントである。

授業を担当する人

武田 孝彦